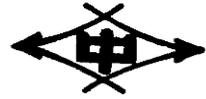




# 浜中だより



堺市立浜寺中学校  
堺市西区浜寺船尾町西5丁60  
TEL261-2205 FAX261-1037

<http://www2.sakai.ed.jp/hamadera-j>  
<http://www.sakai.ed.jp/hamadera-j/indexm.htm>

## 学校再開

校長 石山 陽

5月後半に、各学年・クラスともに2回の分散登校日を設定いたしました。臨時休校中、生徒のみなさんはたいへんな不安と心配を感じていましたが、元気に登校してくれた様子を見て本当にほっとしました。いつ学校が再開されるのかわからない中で、外出が自粛され、学校から課題は与えられるものの、なかなか意欲的に取り組めなかった人もいました。保護者のみなさまにおかれましてもご心配とご苦勞をおかけしていたことと思っています。学校も何かできないかと思い、いろいろと考えはしましたが、緊急事態宣言中であり、各学校が独自で判断をすることができない状況でした。教育委員会からの指示に従いながら、中学校区（浜寺石津小・浜寺東小）である程度の足並みを揃えて3校で連絡を取り合い、課題への対応を進めてまいりました。

最近の大阪府の感染状況をみるとかなり減少傾向にあり、明るい兆しが見えてきたかと学校再開に期待をしていました。が、もちろん油断は禁物です。

学校としても、1日でも早く元通りの学校生活ができることを願い、これまでの遅れを適切に取り戻せるように、しっかりと準備してきた取り組みを進めてまいります。保護者のみなさま方におかれましては、まだしばらくの間は、ご心配をおかけすることになると思いますが、なにとぞご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## 明確な「目的」をもって「目標」を掲げる

待ちに待った学校再開です。

- は はれやかな挨拶が響き渡る学校
- ま まじめにしっかり学べる学校
- で 伝統守ってみんなが仲良く過ごせる学校
- ら 樂せず健やかな心と身体を作る学校

2020 浜中スローガンをこのように掲げました。

長期の臨時休校を経験をしたこの時期だからこそ、もう一度原点にもどって、教職員が教育の目的をしっかりと持って、目標を掲げてスタートしたいと思います。

「目的がいかにかに大切であるか」というたとえ話として有名な、イソップ物語の「三人のレンガ職人」の話を紹介します。

中世のとあるヨーロッパの町で一人の旅人が、三人のレンガを積んでいる男たちに出会います。そこで旅人はそれぞれに「何をしているのか？」と尋ねました。

一人目の男は「親方の命令で毎日レンガを積みまされているんだ」と言いました。

二人目の男は「家族を養うために毎日レンガを積んで働いているんだ」と答えます。

三人目の男は「歴史に残る偉大な大聖堂を造っているんだ。素晴らしいだろう」と答えました。

三人の男たちにとって「目標」は共通です。一日に何個のレンガを積むとか、いつまでに自分の担当したところを仕上げるといったことです。

ところが「目的」は3人とも違います。

一人目の男は希望・夢・志などの使命感はまったくありません。やらされて積んでいるだけです。

二人目の男は生活費を稼ぐのが目的です。頭の中は「もっとお金になる仕事はないか」でいっぱいかも知れません。

三人目の男は歴史的な事業に関わり、世の中に貢献することが目的です。



一人目の男は、きつといいやいや働くことになります。二人目の男は、仕事に対して楽しみややりがいをあまり持たないでしょう。三人目は仕事にやりがいと意義を感じて精を出して働きます。

教職員も目的をしっかりと持って目標を達成しなければなりません。教育の目的は教育基本法に「人格の完成」と書かれています。

三人目の男が教師なら、目を輝かせてこのように答えるのではないのでしょうか。

「目の前の子どもたちが、将来幸せに過ごせるように、十分な知識を身につけさせて、そして自分で考え、行動できる人間に育てたい。子どもたちを計画的に学習させることができるのは、我々教師だけだ。子どもたちの将来に大きく貢献できるはずだ。子どもたちは先生を選べ

ない、今自分が出来る最高の教育を受けさせてあげたい。子どもたちと最高レベルの3年間を過ごすために、計画を立て、最高の授業を日々めざしていく。子どもの将来に貢献する仕事ができるなんて本当にワクワクする。そして、そんな子どもたちは、将来すばらしい社会を創ってくれる。」

浜寺中学校がこんな先生で溢れる学校であるように、目的をもって目標を掲げ、スタートしてまいります。

## 5落7当



### 〇(ら)楽せず健やかな心と体をつくる学校

「家での7つの約束」のなかにもある「早寝・早起き・朝ごはん」で健康な体づくりを行ってください。そして、学校生活にあわせた生活リズムを身につけてください。

と、5月浜中だよりに書きました。

脳科学で有名な東北大学の川島隆太教授は、「同じ時間に寝て、同じ時間に起きるという習慣を持っていないと、脳も体も元気が失われる。特に大きな問題は見当たらないのに、疲れて学校にいけない子どもたちがいます。こうした子どもたちは、睡眠をきちんとリズム正しくとっていないことが指摘されています。生活のリズムを取り戻すことが一番の治療法であることもわかっています。」と話しています。

また、「私たちが日中に学んだことや経験したことは、睡眠の間に脳の中にしまわれます。睡眠時間の短い人は、翌朝起きた時に前日したことを忘れている確率が高い。昔、大学受験では『4当5落』と言われていました。1日5時間も寝ていたら、大学に入れないと。今の脳科学の考えでは『5落7当』かと思います。睡眠時間の短い人は、覚えたことが翌朝抜けてしまう。きちんと寝ることが重要なのです。」とも指摘しています。

さて、この話を生徒のみなさん、保護者のみなさまはどのように受け止めたでしょうか。昨年も、養護教諭が毎日書いている保健日誌には「何となくダルくて来室」という記録が多数を占めていました。ダルさの原因は様々だと思いますが、不規則な睡眠時間が原因となっている場合が多いと考えられます。今一度、お子様と生活のリズム、睡眠時間について話し合ってみてください。このことにつきましては、各学級でも話をしていきますが、家庭の協力なくして進めていくことはできません。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

しっかりと睡眠をとると早起きになり、朝食の時間が確保できるということにもつながります。朝食をとることによって脳が活性化することは従前から言われていたことです。「子どもの健全育成は、早起きにあり」を合言葉に、学校・家庭・地域が一体となって推し進めていきたいと思っています。

# 6月の行事

日 曜	令和2年度	日 曜	6月行事予定
1 月		17 水	
2 火		18 木	歯科検診 (A)
3 水		19 金	3年生アルバム写真・部活動写真
4 木		20 土	P T A 実行委員会・新旧役員引継ぎ
5 金	6月1日(月)～14日(日) 分散登校期間のため、別紙で 時間割りを確認してください。	21 日	
6 土		22 月	クラス写真・部活動写真
7 日		23 火	4 5×6 教育相談
8 月		24 水	認証式
9 火		25 木	4 5×6 教育相談
10 水		26 金	4 5×6 教育相談
11 木		27 土	
12 金		28 日	
13 土		29 月	4 5×6 教育相談
14 日		30 火	4 5×6 教育相談
15 月	始業式・対面式		
16 火			



## 5月下旬 分散登校の様子

